

**河津桜と菜の花杯争奪剣道大会 特集号**



平成30年度河津桜と菜の花杯争奪剣道大会  
 期日:平成31(2019)年1月26~27日  
 場所:河津町立河津中学校体育館



1/26(土):第1日目 研修・交流  
 左:講師 高瀬裕功先生(教士七段)  
 講話「幼少年指導について」と基本錬成指導

講話 剣道を取ったら何も無い人間になるな!  
 文武両道にがんばる子どもの育成を目指す

- 「伸びる選手の条件十か条」のうち三つ
- 素直で謙虚、感謝の心がある。
  - 相手の目を見て会話ができる。
  - 仲間との協力心や思いやりがある。



【指導歴】  
 ・富士東、吉原高で団体・個人でインターハイ出場4回。  
 ・全国高校選抜優勝大会団体出場1回。  
 ・国体少年の部監督。

「声こそ最大の武器」  
 声が空気をつくり、声でやる気が振るい立つ…苦しい時こそ声を出せ、つらい時こそ声を出せ。…勝負に負けても声で負けるな。それは最後まであきらめない心、自分に負けない心。…声で勇気を与え、声が力を与えてくれる。声こそ最大の武器なのだから。

上:高学年「有効な一本」  
 渡邊典夫先生(教士七段)  
 中:低学年「合気・剣道の所作」  
 山本英広先生(教士七段)  
 下:初心者「新聞紙切りから上手に打たせる」  
 長田育郎(教士七段)



1/27(日):第2日目 研修発表(河津桜と菜の花杯争奪剣道大会)

審判長 板垣宏行先生(錬士七段)

大会会長 山本由美子(豆游義塾保護者会会長)

選手宣誓 大和峻太郎選手(豆游義塾 松崎小5年)



【予選Aリーグ】

※A~D予選リーグ1位が決勝トーナメントへ

	1 青島	2 葦山	3 誠龍会	4 豆塾	勝点数	勝者数	本数	順位
1 青島剣スポ		$\frac{8}{4}$	$\frac{8}{4}$	$\frac{8}{4}$	3	12	24	1
2 葦山錬成館B	$\frac{0}{0}$		$\frac{5}{3}$	$\frac{0}{0}$	1	3	5	3
3 誠龍会B	$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$		$\frac{0}{0}$	0	0	0	4
4 豆游義塾	$\frac{0}{0}$	$\frac{8}{4}$	$\frac{8}{4}$		2	8	16	2

第1試合場(第7試合) 青島剣スポ 対 豆游義塾

	青島剣スポ(所属)		内容	豆游義塾(所属)	
先鋒	田中 晋作	青島北4年	⊗メ -	山本 翔太	松崎3年
次鋒	紅林 祐毅	青島4年	⊗メ -	山本 朔也	仁科3年
中堅	藪崎 公容	青島北4年	⊖メ -	山本 蒼己	松崎4年
副将	柳澤 桜子	広幡5年	⊗メ -	山田 船成	松崎4年
大将	松下 心咲	青島4年	×	大和峻太郎	松崎5年
			4 - 0		

**先鋒**山本翔太は動きもよく、相手をよく見て互角の試合展開だったが、真直ぐ伸びるメンに力の差。

**次鋒**山本朔也は健闘するも声の差で相手に軍配。

**中堅**山本蒼己は積極的にメンを繰り出すも、体に力みがあり本来の技の伸びが見られず、敗退。

**副将**山田船成は途中固くなり足が前に出なくなったが、積極的に声も出ていい試合だった。腕の使い方、足さばきを身につけレベルアップを。

**大将**大和峻太郎は体が大きく成長。精神的に更なる成長に期待。チーム成長の要。

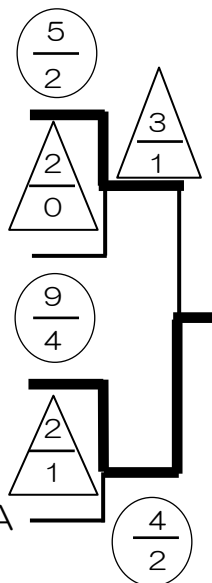
【決勝トーナメント】

A 青島剣スポ

B 天心会A

C 葦山錬成館A

D 伊豆山剣道学園A



	試合結果	
優勝	葦山錬成館A	伊豆の国市
準優勝	青島剣道スポーツ少年団	藤枝市
第3位	天心会A	河津町
	伊豆山剣道学園	熱海市

**コメント**青島剣道スポーツ少年団の選手は3連覇を目標に試合に臨む。中堅まで1勝1敗1引き分け。副将が一本負けで大将に逆転の望みをかけるが、引き分けで3連覇ならず。

右は、優勝杯を授与される葦山錬成館Aの選手。

